

3.山梨県北巨摩郡龍岡村文書目録 (42G-6)

目 次

解 題

3・1. 龍岡村役場文書/1889年(明治22)― .....p.53  
3・1・1. 戸籍 1

---

## 解 題

**歴 史** 龍岡村の地域は、甲府盆地の北西部、釜無川(富士川上流)と支流御勅使川が合流する三角地帯にある。現在の韮崎市の東南端に当たり、かつての駿信往還、現在の国道52号線がここを南北に通じている。近世では武川筋に属し、下条東割村・下条南割村・若尾新田の3か村があった。明治維新後、各村は、市川県・甲斐府・甲府県を経て、1871年(明治4)から山梨県の管轄となった。大小区制期には、1872年(明治5)に巨摩郡第二十二区、1876年(明治9)に山梨県第十二区に属し、1878年(明治11)の巨摩郡の分画では北巨摩郡に属した。この間、1875年(明治8)に3村が合併して龍岡村となった。龍岡村は、1889(明治22)年の市制町村制の施行に当たっては単独で施行した。1891年(明治24)の戸口は250戸・1413人であった。1954年(昭和29)に韮崎町など1町9村と合併して、韮崎市となり今日に至っている。

なお、本集の解題所収の図4その2には韮崎市関係の「自治体組織の変遷と文書の引継想定図」を掲げておいたので合わせて参照していただきたい。

**伝来と数量** 本文書群は、韮崎市役所文書と一体のものとも考えられるが、書込み下限は、韮崎市発足以前であるので、一文書群として独立させた。1967年度に他の山梨県下町村役場文書とともに、一括して古書店(東京都内)より購入したものである。これまで「山梨県北都留郡諸村役場書類(2)」(42G)であったが『史料総覧』の編集に際して分割し、文書群記号を42G-6とした。

数量は1点、書架延長は0.1mである。

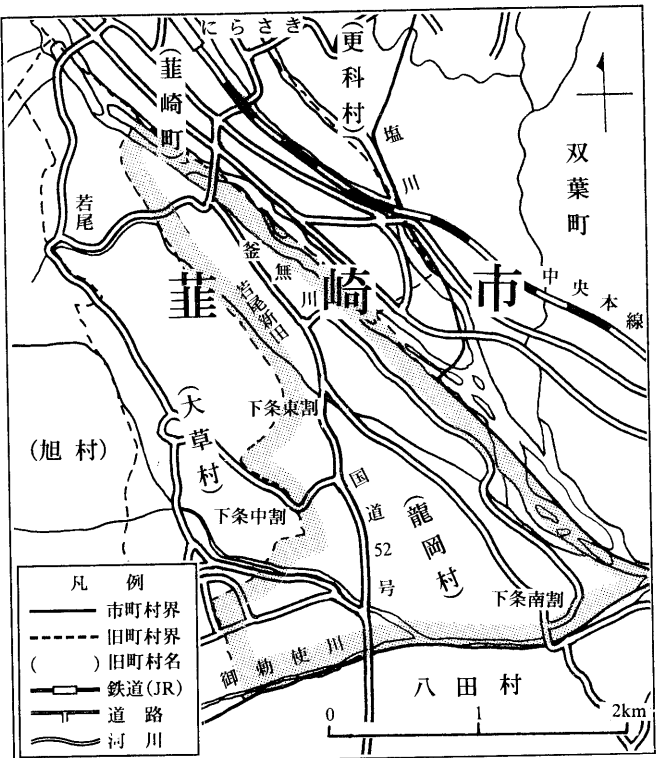
**史料の概要** 「寄留名簿」など3冊が合綴された1点のみである。

**関連史料** 本集の2.「山梨県韮崎市役所文書」がある。

### 参考文献

・韮崎市誌編纂専門委員会編『韮崎市誌』上・中・下巻、資料編、韮崎市役所、1978-79年。

図7 龍岡村要図



---

### 3・1.龍岡村役場文書

---

#### 3・1・1.戸籍

##### 1 [寄留名簿ほか].

[龍岡村役場]. 明治[     ].

1綴(3冊). 33cm. 五ツ目綴.

合綴:1. 寄留名簿 北巨摩郡龍岡村. 作成:龍岡村役場. 明治24(推定). (1891). 書込み下限:明治45. 1冊. 32cm.

2. 管外寄留人名簿 北巨摩郡龍岡村. 作成:龍岡村役場. 明治24(推定). 書込み下限:明治27. 1冊. 33cm.

3. 管内人寄留名簿 北巨摩郡龍岡村. 作成:龍岡村戸長役場(推定). 明治18頃(推定). 書込み下限:明治27. 1冊. 33cm.     史料請求番号42G-6,70